

教育を取り巻く状況は急速に変化を続けています。香芝市にとってもそれは同様であり、少子高齢化や新しい時代の教育に対応した、将来にわたり子どもたちにとってより良い教育環境を実現していくために、この度、香芝市望ましい学校環境検討委員会にてご検討いただくこととなりました。

検討の背景には、教育環境と施設管理の側面があります。

◎ 教育環境について

H27.1 (国)

公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引

- 少子化が進む中、義務教育の機会均等、より良い学校環境の実現
- 学校の地域コミュニティの核としての性格、まちづくりの在り方

R2.3 (市)

香芝市学校施設等長寿命化計画（個別施設計画）

- インフラ・総合管理計画に基づく具体的な行動計画
 - 教育環境の整備、地域コミュニティの拠点、避難所等の機能強化
 - 限られた財源の中で、学校施設等を長寿命化しながら維持管理し、更新コストの縮減・平準化を図る
- ※この計画策定が、国の施設整備交付金申請の前提

R3.1 (国)

「令和の日本型学校教育」の構築を目指して（答申）

- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実
- 「主体的・対話的で深い学び」の実現

R3.3 (市)

第5次香芝市総合計画

- 目指す姿：すべての児童・生徒が安全に安心して、主体的・対話的で深い学びができる環境が整っている
- 学校施設の、時代のニーズに応じた整備・効率的かつ効果的な改修

R5.3 (市)

香芝市学校施設の再編等に関する基本方針

- 子どもたちにとって安全で安心できる教育環境
- 将来にわたって持続可能なより良い施設管理

◎ 施設管理について

H25.11 (国)

インフラ長寿命化基本計画

- インフラの戦略的な維持管理・更新等を国・地方公共団体に推進
- H26.4 地方公共団体に計画策定を要請

H28.11 (市)

香芝市公共施設等総合管理計画

- 上記の国の要請に基づき策定
- 将来にわたる施設利用者の安全・安心の確保、財政負担の縮減・平準化

◎ 現状と課題

○多様化・複雑化する教育課題と、新しい学びのスタイルに対応するこれからの教育の実現

→国が示す「教育」を基本に、「香芝市の地域の実情に応じた望ましい学校環境」を地域の声で検討する必要がある

○人口推計では少子化が予想されており、今後の学校運営・学級編成等について基準の検討が必要

○学校施設の維持管理の課題への対応

→建築から長い年月が経過しており、老朽化対策や防災・減災、耐震等の対策が必要

→財政的な課題（今のままでは、学校施設の約3分の1しか維持管理することができない）

○香芝市のまちづくりの方針と教育環境づくりとの間に、整合性を図ることが必要

※学校施設の長寿命化や機能向上を進めるには、まず「望ましい学校環境」を明確にして要否や順序を決める必要がある

◎ 教育環境の充実・持続可能な施設管理を、「一体的・総合的」に進めていくことが重要

最優先事項 香芝市子どもたちにとってのより良い学校教育環境の実現

- 「令和の日本型学校教育」を基に、少子高齢化等、教育を取り巻く社会情勢の変化に対応した、これからの香芝市子どもたちにとって望ましい学校教育環境を最優先に検討

検討事項 上記を念頭に、学校の多様な性格を多面的に捉え、一体的・総合的に検討していく

- 地域コミュニティの核としての学校（地域の交流の場、防災機能の強化等）
- 将来にわたって安全・安心な学校施設の維持管理（老朽化等対策と教育環境向上の一体的な推進）
- 地域の実情に応じた、様々な課題についての協議